

第17週の発生動向(2006/4/24~2006/4/30)

1. 伝染性紅斑については、先週に引き続き、弘前、五所川原保健所管内で**警報**が出ています。
2. インフルエンザについては、前週より60人増加しており注意が必要です。迅速診断キットにより、弘前保健所管内ではA型:2件、B型:44件、むつ保健所管内ではA型:8件が報告されています。

第17週五類感染症定点把握

保健所名	青森		弘前		八戸		五所川原		上十三		むつ		青森県計		増減数 (前週からの増減)
	疾患番号・疾患名	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	
(72) インフルエンザ	7	0.50	46	3.07	146	10.43	11	1.57	10	1.11	8	1.33	228	3.51	60
(60) 咽頭結膜熱			3	0.33	1	0.11					2	0.50	6	0.14	-4
(61) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	32	3.56	17	1.89	12	1.33	3	0.60	8	1.33	11	2.75	83	1.98	6
(62) 感染性胃腸炎	52	5.78	52	5.78	7	0.78	3	0.60	6	1.00	18	4.50	138	3.29	-56
(63) 水痘	21	2.33	8	0.89	9	1.00	5	1.00	7	1.17	6	1.50	56	1.33	7
(64) 手足口病			1	0.11							1	0.25	2	0.05	-1
(65) 伝染性紅斑	6	0.67	20	2.22	3	0.33	15	3.00	5	0.83	2	0.50	51	1.21	-5
(66) 突発性発しん	4	0.44	2	0.22	3	0.33	1	0.20	2	0.33	1	0.25	13	0.31	-16
(67) 百日咳															0
(68) 風しん															0
(69) ヘルパンギーナ	1	0.11											1	0.02	-1
(70) 麻しん(成人を除く)															0
(71) 流行性耳下腺炎	3	0.33	3	0.33	3	0.33	9	1.80	13	2.17	5	1.25	36	0.86	-28
(73) 急性出血性結膜炎															0
(74) 流行性角結膜炎	1	0.50	1	0.33	4	2.00	1	1.00	9	4.50			16	1.45	9
(59) RSVウイルス感染症			1	0.11	1	0.11							2	0.18	-1
(82) マイコプラズマ肺炎					5	5.00							5	0.83	2

保健所名	定点数				
	インフルエンザ (内科+小児科)	小児科	内科	眼科	基幹
青森	14	9	5	2	1
弘前	15	9	6	3	1
八戸	14	9	5	2	1
五所川原	7	5	2	1	1
上十三	9	6	3	2	1
むつ	6	4	2	1	1
合計	65	42	23	11	6

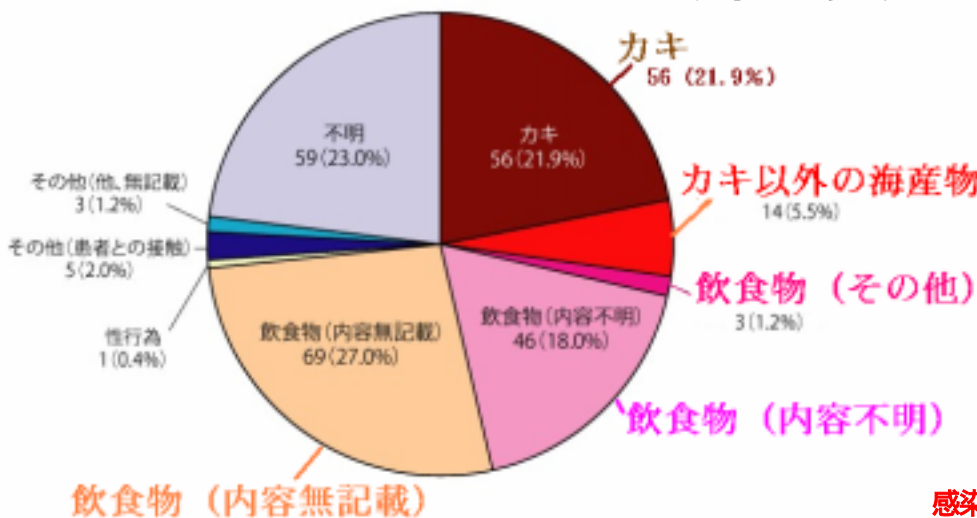
■ は警報    ■ は注意報    「空欄」: 患者発生数0

表 以外の感染症法対象疾患(18年計には、今回届出された人数を含む)

(17) A型肝炎(四類全数把握疾患) ..... 八戸保健所管内: 2人 ..... (18年計 2人)

感染症の窓

A 型 肝 炎



県内第17週八戸保健所管内において、A型肝炎が報告されました。図に示したように、国立感染症研究所の統計では、感染経路の約7割が飲食物(食品や水)となっています。

潜伏期は2~7週間であり、症状は他のウイルス肝炎と同様全身倦怠感、発熱、黄疸、肝機能異常などです。

**感染予防**    衛生環境の悪い地域での生水、氷、生の魚介類の飲食を避けるようにすることが大切です。

図 A型肝炎の感染経路 国立感染症研究所まとめ(2004)